

事務事業評価票

所管部長等名	商工観光部長 山本 道弘
所管課・係名	重点港湾八代港営業隊
課長名	高崎 正

評価対象年度	平成23年度
--------	--------

(Plan) 事務事業の計画						
事務事業名	みなと八代フェスティバル事業		「主なる事業の執行状況調」における件名又は事業名	みなと八代フェスティバル事業		
会計区分	一般会計					
予算の事業名	みなと八代フェスティバル事業					
事業コード(大-中-小)	14	—	01	—	14	—
施策の体系 (八代市総合計画の実実施計画における位置づけ)	基本目標(章)	第3章 安全で快適に暮らせるまち				
	施策の大綱(節)【政策】	③暮らしを支えるまちづくり				
	施策の展開(項)【施策】	②港湾の充実				
	具体的な施策と内容	(3)親しまれる港づくり				
根拠法令、要綱等						
実施手法 (該当欄を●)	<input type="radio"/> 全部直営 <input type="radio"/> 一部委託 <input checked="" type="radio"/> 全部委託 <input type="radio"/> その他()		法令による実施義務 (該当欄を●)	<input type="radio"/> 義務である <input checked="" type="radio"/> 義務ではない		
事業期間	開始年度	合併前		終了年度	未定	

(Do) 事務事業の実施

事務事業の概要	目的	対象(誰・何を)	成果目標(どのような効果をもたらしたいのか)
	内容 (手段、手法等)	市民	イベントを通じて、市民が直接的に海や港にふれあうことにより、県内最大の貿易港である「八代港」のPRが図られるとともに、海事官公庁や外港立地企業の周知が可能となる。
事業開始時点からこれまでの状況変化等	事業開始後、24回の開催実績があり、毎年イベントを楽しみにしている市民や市外のリピーターも多い。ソーラスフェンスの設置により港湾施設の保安体制が強化され、岸壁等一部施設への立ち入り禁止となったことから平成16年度はイベントが中止された。その後、市民の強い開催要望や関係者の協力により平成17年度から復活した。		

コスト・成果指標の推移		単位	22年度決算	23年度決算	24年度予算	25年度見込	26年度見込	27年度見込	
コスト	総事業費	千円	13,000	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600	
	事業費(直接経費)	千円	4,600	4,600	4,600	4,600	4,600	4,600	
	財源内訳	国・県支出金	千円						
		使用料・手数料	千円						
		市債	千円						
		その他()	千円						
	一般財源	千円	4,600	4,600	4,600	4,600	4,600	4,600	
概算人件費(正規職員)	千円	8,400	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000		
正規職員	人	1.20	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00		
従事者数	人								
臨時職員等従事者数	人								

(もたらそうとする効果の数値化)	指標名	指標設定の考え方	単位	22年度実績	23年度実績	24年度見込	25年度計画	26年度計画	27年度計画
	①	入場者数	来場していただき、海港にふれあうことにより、「八代港」のPRが図られるため指標として設定した。	人	9749	7438	10000	10000	10000
②									
<記述欄>※数値化できない場合									

(Check) 事務事業の自己評価				
事業実施の 妥当性	①	【計画上の位置付け】 事業の目的が上位政策・施策に結び つきますか	A 結びつく B 一部結びつく C 結びつかない	A (現状分析等) イベントを通じて港湾整備等、港の振興に関する理解の醸成を図ること ができる。
	②	【市民ニーズ等の状況】 市民ニーズや社会状況の変化により、 事業の役割が薄れていませんか	A 薄れていない B 少し薄れている C 薄れている	
	③	【市が関与する必要性】 市が事業主体であることは妥当で すか(国・県・民間と競合していません か)	A 妥当である B あまり妥当でない C 妥当でない	B
活動内容の 有効性	①	【事業の達成状況】 成果目標の達成状況は順調に推移し ていますか	A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない	B (現状分析等) 平成23年度はイベント当日の悪天候のため、入場者が減少した。
	②	【事業内容の見直し】 成果を向上させるため、事業内容を見 直す余地はありますか	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	
実施方法の 効率性	①	【民間委託等】 民間委託、指定管理者制度の導入な どにより、成果を下げずにコストを削減 することは可能ですか	A できない B 検討の余地あり C 可能である	B (現状分析等) 八代港を利用する荷主企業のイベント招致や協賛金協力依頼を積極 的に進めていく。
	②	【他事業との統合・連携】 目的や形態が類似・関連する事業と の統合・連携によりコストの削減は可 能ですか	A できない B 検討の余地あり C 可能である	
	③	【人件費の見直し】 非常勤職員等による対応その他の方 法により、人件費の削減は可能ですか	A できない B 検討の余地あり C 可能である	
	④	【受益者負担の適正化】 受益者負担に見直しの余地はありま すか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃 止)	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	

(Action) 事務事業の方向性と改革改善																									
今後の方向性 (該当欄を●)	<input type="radio"/> 不要(廃止) <input type="radio"/> 民間実施 <input checked="" type="radio"/> 市による(民間委託の拡大・市民等との協働等) <input type="radio"/> 市による実施(要改善) <input type="radio"/> 市による実施(現行どおり) <input type="radio"/> 市による実施(規模拡充)	(今後の方向性の理由) イベントを通じて、市民が直接的に海や港にふれあうことにより、県内最大の貿易港である「八代港」のPRにつながる。																							
改革改善内容	今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果 昨年以上に八代港立地企業のイベントへの参画も促していく。ソーラスフェンス内での開催となるため、保安体制の充実と併せて港湾管理者である県の理解と協力が今後必要である。イベントを通じて、市民が直接的に海や港にふれあうことにより、県内最大の貿易港である「八代港」のPRにつなげていく。	改革改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								

外部評価の実施	有：外部評価(市民事業仕分け)	実施年度	平成22年度
---------	-----------------	------	--------

決算審査特別 委員会における 意見等	(委員からの意見等)
--------------------------	------------